

令和4年度事業報告

1. 概 要

(公社) 中間市シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者が地域社会の中で生きがいの充実を図り、会員自らの知識・経験・能力を発揮し活力ある地域社会に寄与することを目的とし、中間市をはじめとする関係機関のご支援のもと、一般家庭、事業所等の発注者のご理解とご協力をいただき、会員の拡大、就業機会の確保、適正就業の推進等、事業運営に当たってきました。

しかしながら3年以上の長きに亘り、私たちの日常生活に多大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、会員の就業機会の喪失など当センターもまた影響を受けました。

運営面につきましては、新型コロナウイルスの感染防止対策により、定時総会の規模縮小や各種講習会の開催中止とさせていただきましたが、会員の健康に配慮しながら、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、健康で働く意欲のある高齢者に、地域社会に密着した臨時的、短期的または軽易な仕事を提供するとともに事業の強化・拡充に努めて参り、一定の成果を得ることが出来ました。

就業機会の確保につきましては、本年度の事業実績は、契約金額 76,636,874 円で昨年度と比較して 14,615,056 円の増額となりました。業種別の契約金額割合では公共事業 48.3%、一般家庭 29.1%、事業所 12.7%、独自事業 4.3%、派遣事業が全体の 5.6%を占めています。

会員の拡大につきましては、会員数を獲得するため新入会説明会の開催も毎週開催するなど柔軟な対応で説明会を開催し、また、会員の皆様からの口コミによる取り組みも行っていました結果、本年度末の会員数は、183人で、昨年度と比較して39人の増加となりました。

安全適正就業につきましては、安全就業基準を遵守し、安全委員会を中心に年間11回の安全パトロールを実施し会員に注意喚起を行った結果、昨年度より減少しましたが、賠償事故が2件、傷害事故が2件の合計で4件発生しており事故ゼロを目指すため、今後も更なる努力が必要と痛感しています。

今年度も関係機関からご理解とご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

以下、令和4年度の実業内容、会員の状況及び事業実績等について報告いたします。

(1) 普及啓発

高齢者の入会促進や就業機会の確保を図るため、センターの事業内容、会員募集、会員の仕事の様子や会員の声を「いきいきシルバーなかま」に掲載し、年2回市内全世帯に配布いたしました。併せて中間市役所ほか、各施設にも会員募集・仕事の依頼等の啓発のため啓発用資料を掲示し、普及啓発活動に努めて参りました。

(2) 社会参加活動

センターが行っている独自事業「刃物研ぎ」、「石焼芋販売」、「エアコン清掃」、「手作り小物販売」、「カブトムシ幼虫販売」「シルバー愉快農園」の活動内容をチラシ等で広くPRに努めました。また、地域貢献では高齢者の生活支援の「ワゴン事業」や「介護予防としての総合事業」等の活動に努めました。

樹木剪定のボランティア活動は、樹木医の専門家を招聘し、会員の技能向上を図る講習会を兼ね中間市立中間北小学校で実施いたしました。なお、10月に予定しておりました清掃ボランティアは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

(3) 安全就業対策・適正就業の徹底

安全就業につきましては「事故ゼロ」の取り組みとして、就業現場への安全パトロールの強化に努めてきたことにより、事故発生件数は4件と昨年度より5件減少となりました。

適正就業につきましては、シルバー人材センター適正就業ガイドライン「シルバー人材センターのご案内」で「請負・委任・派遣・職業紹介」の形態や会員が概ね「月10日以内・週20時間」を超えない範囲でのローテーション就業の徹底を図って参りました。

(4) 相談事業

入会を希望する高齢者の方に対して、換気の励行や人数の調整など行う中、センター施設内で毎週金曜日に入会説明会を開催し、様々な相談に対応して参りました。また、会員の就業に関する相談にはその都度対応し、会員とのコミュニケーションを図って参りました。

(5) 研修・講習事業

発注者のニーズに応えるため、就業に必要な技能を習得するための植木剪定、チェーンソー講習会などの独自講習会を開催し、会員の知識や技能の向上と後継者の育成に努めました。また、会員の健康の保持・増進を図るために健康管理講習会を開催しました。その他の講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止といたしました。